



うしんばん 羅針盤

浦添市立浦添中学校
第6号
進路担当発行

県立高校：推薦入試から特色選抜へ

現中学3年生を対象とした新しい県立高校入試制度『特色選抜』がR7年2月に実施されます。特色選抜の募集要項や可否判定基準、実績等のランク表などは、各高校のホームページに載せられています。中学3年生の皆さんは確認していると思いますが、中学1・2年生の生徒も興味のある高校の募集要項などを確認しておくようにしてください。これまでの推薦入試制度の趣旨を継承しつつ、中学校までの基礎学力の確かな定着を図るため、受検者全員に「学力検査」は必須となっています。また、裏面には、「卒業生からの一言」を載せていますので、これからの中学校生活の参考にしてください。

「特色選抜」の基本方針

①生徒自らが出願できる。

学校推薦ではなく、生徒本人による出願とすることで、意欲的な学習の態度や主体的な進路決定を促す。(各高校が出す出願条件を満たす必要はある。)

②生徒の特性や個性を伸ばす。

受検生の志望校を決定するための資料として、各学校・学科の特色をより明確に示すための「育成したい資質・能力」や「目指す生徒像」を作成する。

③学力検査を全員受験する。

義務教育段階の学習内容の確かな定着を図る。(得点は選抜可否の資料とする。)

④受検機会をこれまでどおり確保する。

現行では推薦入試と一般入試で最大2校へ出願する機会があり、受検機会を維持する。(特色選抜と一般選抜のそれぞれ異なる高校へ出願できる。)

⑤ICT活用を推進する。(web出願となる。)

出願システムや採点業務の効率化、複雑化する処理データを一元化できる。

推薦入試から特色選抜へ

★これまでの推薦入試制度の課題★

- ①：早期合格手段としての傾向が強く、**本来の趣旨が活かされていない**状況がみられた。
- ②：推薦内定者の中には、**学習意欲が低下**してしまい、義務教育段階の**学力の定着に課題**がみられた。
- ③：**中学校によって校内推薦基準が異なる**ため、不公平感があった。

「特色選抜」の目的

志望学科への興味や関心及び適性を有する者を選抜するという、**これまでの推薦入試の趣旨を今後も継承しつつ、生徒が主体的な学習に向かう力の育成と中学校までの基礎学力の確かな定着を図り、特性や個性の一層の伸長につながる選抜とする。**

特色選抜の留意事項

各高校によって、**学力検査、調査書、独自検査・面接等の配点が異なる。**

参考 特色選抜「入学者選抜における求める生徒像・選抜方法」

学校名	学校コード	課程	学科コード	科目	選抜方法
111	●●	●●	●●	●●	●●

【求める生徒像(アミッションプロフィール)】

- ① 志望学科やコース(学科)に強い関心を持ち、その基礎的知識を有する生徒
- ② 学習意欲が高く、主体的に学習に取り組む生徒
- ③ 学力の定着を図る生徒

【選抜方法】

① 学力検査(400点)

② 調査書(200点)

③ 面接(200点)

④ 独自検査・面接等(200点)

⑤ 推薦書(200点)

⑥ 面接(200点)

⑦ 面接(200点)

⑧ 面接(200点)

⑨ 面接(200点)

⑩ 面接(200点)

⑪ 面接(200点)

⑫ 面接(200点)

⑬ 面接(200点)

⑭ 面接(200点)

⑮ 面接(200点)

⑯ 面接(200点)

⑰ 面接(200点)

⑱ 面接(200点)

⑲ 面接(200点)

⑳ 面接(200点)

㉑ 面接(200点)

㉒ 面接(200点)

㉓ 面接(200点)

㉔ 面接(200点)

㉕ 面接(200点)

㉖ 面接(200点)

㉗ 面接(200点)

㉘ 面接(200点)

㉙ 面接(200点)

㉚ 面接(200点)

㉛ 面接(200点)

㉜ 面接(200点)

㉝ 面接(200点)

㉞ 面接(200点)

㉟ 面接(200点)

㊱ 面接(200点)

㊲ 面接(200点)

㊳ 面接(200点)

㊴ 面接(200点)

㊵ 面接(200点)

㊶ 面接(200点)

㊷ 面接(200点)

㊸ 面接(200点)

㊹ 面接(200点)

㊺ 面接(200点)

㊻ 面接(200点)

㊼ 面接(200点)

㊽ 面接(200点)

㊾ 面接(200点)

㊿ 面接(200点)

詳細版

卒業生のひと言から学ぶ

○やっていた良かったこと

- ・苦手なことも嫌いなことも、どんなこともあきらめずに努力したこと。
- ・あいさつをし、校則を守ったこと。
- ・部活動や級長などを真剣に取り組んだこと。学校行事や委員会活動に積極的に参加したこと。
- ・定期テスト対策をしっかりとしたこと。勉強に全力で取り組んだこと。
- ・クラスで協力して行事に取り組めたこと。
- ・英検、漢検、数検の資格を取っていたこと。
- ・生徒指導や遅刻が1回もなかったこと。
- ・委員会活動、勉強、部活動をすべて頑張ったこと。
- ・提出物をしっかりやって、2・3年で内申を上げたこと。
- ・賞状をもらうような実績があったこと。
- ・毎日登校し、ほぼ休まなかったこと。
- ・習い事を一生懸命やっていたこと。

○やっておけば良かったこと

- ・毎回の単元テスト、定期テストに全力を出せば良かった。
- ・苦手な教科でも自分なりに一生懸命課題に取り組み、内申を上げておけば良かった。
- ・日頃からもっと家でも勉強し、わからないものはちゃんと復習しておけば良かった。
- ・外部のコンクールや大会に積極的に参加しておけば良かった。
- ・2年生のとき気を抜かずに、2、3年でも高い評価を目指しておけば良かった。
- ・1年のときから真剣に授業を受けて内申を上げつつ、学力向上を目指しておけば良かった。
- ・3年生になる前に、自分の得意なことを見つけておけばよかった。
- ・授業で習ったことは、その日のうちに完璧にわかるようにしておけば良かった。
- ・級長や副級長をやっておけば良かった。
- ・英検や漢検などの検定試験にもっとチャレンジすれば良かった。(準2級以上)
- ・敬語をもっとうまく使いこなせるように、普段から意識するべきだった。

○授業に向かう姿勢についてアドバイス

- ・自分のために勉強を頑張る。自分の苦手なことや嫌なことにも積極的に取り組む練習をする。難しい勉強でも、わかろうとする気持ちで取り組むことが大切だとおもう。
- ・授業中は絶対に眠らない。休み時間に寝てください。おしゃべりはしない、提出物は期限を守って全部出す。
- ・まずは自分で考えてみて、わからないことがあったら先生や友達に聞いてわかるようになるまでやってみる。わからないところは積極的に質問することが大切だと思う。
- ・先生の目を見て話を聞く。
- ・できるだけ授業の中で理解して完璧にすること。予習ができていれば、もっといいと思う。
- ・先生の話をしっかり聞き、発表やグループ活動を積極的に取り組む。
- ・眠くても眠らないで頑張っておくことが大切です。また、提出物等も期限内に出すことが1番ですが、期限が過ぎてもあきらめずに先生にお願いして出すことが、私はいいと思う。

○学校生活(行事・委員会・部活・身なり等)についてアドバイス

- ・委員会や部活動などは積極的に行なう。いろいろな活動を通していい経験ができるし、実績にもなる。勉強だけでは得られない知識を得ることができる。
- ・学校の校則を守ることは基本中の基本であり、校則を守れない人は勉強にも支障が出てくる。
- ・苦手なことでもあきらめず最後まで頑張ること。新しいことに積極的に挑戦する。
- ・行事や委員会活動は全力で無我夢中になって一生懸命取り組むと楽しめるし、仲間とも仲良くなれると思う。
- ・自分から何でも率先してやる。(思い出になるし、先生方からの評価もアップ!)
- ・身なりなどは細かいことを今のうちに気をつけておけば、将来社会に出ても焦らずにすみ、面接のときなどでも安心して望めます。
- ・日常生活の中で先輩や先生方などの目上の人に、ちゃんと敬語が使えるようにしておくといーと思う。

進路は、**将来の問題ではなく**
現在の問題なのだ